

平成28年度北広島市立大曲東小学校自己評価および学校関係者評価書および報告書

| | |
|-----|------------|
| | 平成28年2月15日 |
| 校長名 | 高秀 愛司 |

1. 学校教育目標

| |
|---|
| <p style="text-align: center;">「心ゆたかに 未来をひらく 東小の子」</p> <p>【すすんで学ぶ子（知）】 ・意欲的に学習に取り組み、考えをしっかりと表現することのできる子の育成</p> <p>【仲よく助け合う子（情）】 ・豊かな心を持って、高め合い仲よく助け合うことのできる子の育成</p> <p>【ねばり強くやりとげる子（意）】 ・目標を持ち、それに向かって粘り強くあきらめずに努力する子の育成</p> <p>【明るく元気な子（体）】 ・心もからだも健康で、明るく元気に活動する子の育成</p> |
|---|

2. 学校の経営方針

| |
|--|
| <p style="text-align: center;">かんだうのある学校～感動・歓働・汗動のある学校～</p> <p>①子ども達に感動を与える学校。 ②教職員が「歓働」を共有する学校。 ③地域や保護者、教職員の「汗動」に支えられた学校</p> |
|--|

3. 学校課題

| |
|--|
| <p style="text-align: center;">自己有用感に裏付けられた自尊感情を持つ子どもの育成 ～一人一人が主役である東小の子・感動・歓働・汗動のある学校を創造する～</p> |
|--|

3. 本年度の重点

| |
|---|
| <p>①協働体制に基づく教育活動を展開し、「チーム大曲東小」（学校力）の向上を図る。 ②道徳教育の充実を図り、学校課題の解明を展開する。 ③経営プログラムの実践化を計り、マネジメントサイクルを確立する。 ④特別支援教育の充実を図る。ユニバーサルデザインの授業実践の具体化を図る。 ⑤地域・保護者との連携を図り、信頼と責任のもとで実践化を図る。</p> |
|---|

4. 自己評価・学校関係者評価の結果

| 評価項目 | | 自己評価 | | | 学校関係者評価結果 |
|-----------|---|---|----|--|--|
| 大項目 | 小項目 | 取組状況と成果・課題 | 評価 | 改善策 | および意見 |
| 1 学校経営 | 教育課程 | ■児童の状態を把握し、自己有用感を高めるための取り組みを通して、教育の目標の具現化を図り、各分掌の強化と連携を目指してきた。 | A | ■平成30年度から始まる小中一貫教育を見据えて大曲地区が一体となった学校づくりを目指していく。 | ●保護者、地域、学校の三者が一体となった学校づくりに今後とも邁進してほしい。 |
| | 子どもたちの実態に合わせた教育課程を編成し、適切な教育活動が推進されている。 | ■外部からの人材を積極的に取り入れ、学ぶ喜びを味わえる教育活動を行うため、校内体制の整備、計画的で適切な教育活動の推進に努めた。 | A | ■1年間を4期に分け、R P D C Aサイクルを充実させ、工夫改善に努めていく。 | ●外部人材を積極的に取り入れ、道徳教育を柱にした教育課程の編成をしてほしい。 |
| 2 道徳教育 | 生徒指導 | ■「特別な教科道徳」に関する研修や授業の公開、自主公開研修を積極的に行うことで、教師の実践力を高めることができた。 | A | ■道徳の時間以外の学習における道徳教育を充実させ、子ども達の心を耕し育てる教育を推進していく。 | ●参観日での道徳の授業公開、研究発表会等前向きに取り組んでいる様子が伺える。子どもの心を耕し育てる教育を実践してほしい。 |
| | アンケートや教育相談等を通して、いじめや不登校、問題行動等の未然防止・早期発見・早期解決に向けて迅速で組織的な対応を推進している。 | ■早期発見・未然防止を重点として、アンケートや教育相談等の実施をしてきた。児童会活動としてのいじめを防止するための集会、いじめ防止宣言を通して児童への意識づけをしてきた。 | A | ■未然防止は言うまでもなく、いじめや問題行動をさせない学校の風土を培っていく。児童会活動を通したいじめ防止宣言を継続していく。 | ●学校としての組織的な対応はもちろん、児童が主体的に取り組むことによる未然防止を継続してほしい。 |
| 3 学習指導 | 「認め、励まし、誉める」肯定的な指導を行い、子どもたちの学ぶ意欲を高め、確かな学力をつける取り組みが推進されている。 | ■少人数、T T指導、理科専科等により、きめ細やかな指導体制を構築し、計画的に実施することができた。確実な学力定着に向けた取り組みを推進していく必要がある。 | A | ■教師の専門性、授業力の向上を図り、日常の授業の積み重ねにより確かな学力をつけていく。また、P U T、放課後活動チャレンジテスト等を有効に活用し改善していく。 | ●今後も指導体制を充実させ、確かな学力の定着に向けた取り組みを推進してほしい。 |
| | 教職員の共通理解のもと、学力の基盤(学習準備力、学習態度、学習技能、自己学習力)となる力の育成に向けた取り組みが推進されている。 | ■研究部便りの発行や職員研修により、共通理解と統一した指導をすることができ、一定の成果が見られた。 | A | ■小中一貫教育に向け、各教科の系統生を見直し、具体的な到達目標や手立てを明確にしていく。 | ●今後も教職員の共通理解を図り、学校全体で学力基盤の定着に力を注いでほしい。 |
| 4 健康・安全指導 | 外遊びの奨励や体育的諸活動、食育や全校清掃等を通して、健康な生活に対する意識の高揚と取り組みを推進している。 | ■遊具の新設や全員遊びの奨励により、活発に体を動かす姿が見られた。また、体力測定週間の設定サーキットコースの設定など児童が意欲を持って、体力の向上を図ることができた。 | A | ■朝のちょいスポ、サーキットコースの設定など日常的に運動に親しめる環境を整え、体力の向上に努める。また、外部講師を招き、食育を含めた生活習慣に関する意識の向上も図っていく。 | ●日常的に運動に親しめる環境づくりを今後も進め、施設の整備充実にも努めてほしい。 |
| | 廊下歩行指導、交通安全教室や登下校指導などを通して、校内外の事故防止に努める取り組みが推進されている。 | ■学童指導員、地域の方からの情報を集め、児童の登下校の実態を把握し、必要に応じて全校で統一した指導をしてきた。また、消防 | B | ■自転車、公園遊び等郊外における安全指導の強化を図っていく。職員の研修、お迎え型の下校訓 | ●自転車の乗り方、公園の使い方については、今後も継続した指導をしてほしい。また |

| | | | | | | |
|---|--------------------|--|---|---|---|---|
| | | | 署と連携し、教職員の防火設備等の研修をしてから、避難訓練を実施するなど、危機管理体制の強化を図ることができた。 | | 練等を通して危機管理を強化していく。 | 、学校だけではなく、保護者への啓発もお願いしたい。 |
| 5 | 特別支援教育 | 特別なニーズのある子どもの共通理解が図られ、個に応じた支援体制づくりが推進されている。 | ■学年学級経営案、児童の実態交流等で、共通理解が図られた。また、児童の実態に合わせて、特別教育支援員を適切に配置することができた。 | A | ■特別支援教育についての理解を深め、ユニバーサルデザインの授業を実践していく。また、特別支援教育についての正しい理解を促すため、適切な情報発信をしていく。 | ●特別支援教育や合理的配慮、ユニバーサルデザイン等について、保護者への正しい理解を求めるため、適宜情報を発信してほしい。 |
| 6 | 北広島市 共通実践 課題 | 総合的な学習の時間「ひろば」や児童会活動を通して、環境・福祉・人権・平和について適切な取り組みが推進されている。 | ■キャリア教育の一環として、多くの外部講師を学校に招き、学習の充実を図ることができた。講師の先生の話真剣に聞く児童の姿があり、心を耕す学習が実践できた。 | A | ■主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てることができるよう、学習内容、学習形態の見直しをする中で、学習の質の向上を図っていく。 | ●地域人材を効果的に活用し計画的に学習に取り組んでいる。この実践を継続させ、質の向上をめざしてほしい。 |
| 7 | 幼保小中の連携 | 大曲スタンダードの定着等、幼保小中の教育連携強化をめざした取り組みを推進している。 | ■入学前の園の訪問するなど幼保小の連携を密にすることができた。また、大曲児童センターを始め、地域の各店舗、市役所と多面的な連携を構築することができた。 | A | ■中学校校区を単位とした9年間、12年間の長期的視野に立った、系統的な指導体制を構築していく。 | ●小中一貫教育の準備が進んでいる様子がわかり期待をよせている。小中だけではなく、幼稚園、保育園との連携も進んでいる様子がうかがえる。学校や地域のつながりを意識し、長期にわたって子どもを見取る体制づくりをしてほしい。 |
| 8 | 職員研修 | 個々の意欲と創意を生かす研修体制が確立され、教職員としての資質を高める取り組みが推進されている。 | ■道徳教育を中心に研修を深め、児童理解、ユニバーサルデザイン等の研修を通して、教師の資質向上を図る取り組みができた。 | A | ■道徳教育についての研修を深め、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動等教育活動全体における指導の実践について学び合っていく。 | ●日頃から研究・研修を深め、教師の資質向上に努めている。教育の目標の具現化を図ってほしい。 |
| 9 | 開かれた学校 | 適切に情報を発信し、PTA活動の活性化、地域との連携を強化する取り組みが推進されている。 | ■ホームページや学校だよりに代表される各種お便りによる情報発信をすることができ、学校の成果や課題、学校の様子を地域や保護者の方に知ってもらう機会となった。 | A | ■定期的な情報発信と運営委員会や地域交流会での情報の収集を通して、学校と地域が双方向に連携することができる体制を構築していく。 | ●積極的に情報を発信している姿勢は評価できる。地域交流会や地域の催しへの参加を通して、さらに地域・家庭・学校が連携を深め、子どもの育ちを支援する体制を強化してほしい。 |